

## 育休を取得した男性社員の座談会について

新生堂薬局は、男性社員の育児休業（以下：育休）取得を推進するため、6月4日に本社で「育休を取得した男性社員の座談会」を開催しました。この座談会には、育休を経験した社員が集まり、育休の意義や職場での影響、取得のメリットについて話し合いました。

### 参加者

N部長（人事総務部）：4人目のお子さん出産時に育休取得

Kマネジャー（ファーマシー事業部）入社5年目：3人目のお子さん出産時に育休取得

G課長（地域包括事業部）入社4年目：4人目のお子さん出産時に育休取得

S管理薬剤師（調剤店舗）入社8年目：2人目のお子さん出産時に新生堂の男性で初めて育休取得

Nさん（ドラッグストア店舗）入社18年目：1人目のお子さん出産時に育休取得

Kさん（人事総務部）：2人のお子さんを育児中の働く女性社員

### テーマ1. 育休取得の動機は

Kマネジャー（ファーマシー事業部）

「3人目の出産で上の子供の保育園送迎や家での対応が難しかったため育休を取得しました。妻も父親が育児をするのが当たり前という考えでした（汗）。」



Nさん（ドラッグストア店舗）

「初めての子供の出産で、育児に興味もあり子供ができれば取得しようと考えていました。自分の子供を育てるのに育休を取ることは特別なことではなく、制度があるなら興味もあり取得しました。」

### テーマ2. 育休取得による職場への影響、不安

N部長（人事総務部）

「自分しか知らない仕事をどうするか不安だったが、部下に任せることで教育につながり、部下の成長にもつながりました。自分が会議にでるよりスムーズに進んでいることもあったようです（笑）。」



Sさん管理薬剤師（調剤店舗）

「少人数店舗のため人員の補充や店舗がうまく運営できるか不安でした。しかし、育休期間中は上長のサポートや店舗スタッフがしっかり対応してくれて安心して育児に専念できました。」

### テーマ3. 育休中の会社の対応

N部長（人事総務部）

「育休の希望を伝えたところ、社長や専務が背中を押してくれました。部署の皆も分担してカバーしてくれましたね。」



Sさん管理薬剤師（調剤店舗）「新生堂で初めての男性での育児取得でした。受け入れていただけるか不安でしたが上長は快く受け入れてくれました。早めに上長に伝えていたこともあり、滞りなく進めてもらえて安心したのを覚えています。」

Nさん（ドラッグストア店舗）

「早めに育休希望の話をしていたのでスムーズに進みました。申請に必要な書類についても人事の方がすぐに指示してくれたおかげで助けられました。」



### 育休取得のメリットとメッセージ



Kマネジャー（ファーマシー事業部）

「生まれてすぐからしっかり接することで子供も懐き、何をしてあげべきかがわかるようになりましたね。育休中は仕事を気にせずサポートしてもらえました。男性も育休をとるのが当たり前の風潮になってほしいです。」

G課長（地域包括事業部）

「家事、育児の大変さを痛感し家族への感謝の気持ちと子供たちとの絆を深めることができました。部内スタッフの結束を確認できたことの喜びと会社のサポートに感謝しています。」



Nさん（ドラッグストア店舗）「育児を学ぶチャンスや子どもの成長を見逃すのはもったいないです。育休取得は家庭にとって良い選択です。皆も積極的に育休とりましょう！！」



Kさん（人事総務部）

「夫は育休をとらなかったので大変でした。もっと制度を知ってもらい、男女問わずオープンに育休を取れるような会社になってほしいです！！」

### まとめ

新生堂薬局の育休取得を推進する取り組みは、社員の育児経験をサポートし、職場環境の向上にも繋がっています。今後も、男女問わず育休が取りやすい環境づくりを進めてまいります。

育休を取得しやすい環境を整えることは、社員の満足度向上と企業の成長に繋がる重要なステップであることを認識しました。



### 水田社長からのコメント

人生の目的は幸せに生きることです。幸せに生きるために仕事がありますが、仕事があるからこそ幸せに生きることができます。この「幸せの意味」は個人の生き方の変化に応じて変化します。

例えば、結婚は相手を幸せにするものではなく、「一緒に幸せに生きる」と決めることです。また、親になることは、「子供と一緒に幸せに生きる」ということです。このように、結婚や出産は「幸せの意味」を大きく変えますが、特に出産後は生き方が大きく変わりますので、この大きな変化に夫婦ともに適応することが、幸せを維持する鍵となるのです。

今回、育休を取得した男性社員の座談会を開催しましたが、今後も性別を問わず、すべての社員が仕事と育児を両立できる会社を目指していきます。

具体的な支援策や取り組みについては、今後も皆様と共に考え、実行していきます。引き続き、ご協力とご理解をよろしくお願いいたします。